

## 第 38 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(2020 年 11 月調査)

～ 景況感は 6 期ぶりに改善。先行きも改善の見通し ～

### 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲40.6（前回調査比 8.3 ポイント上昇）と 6 期ぶりの改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」が小幅ながら悪化となった一方、「営業利益」と「資金繰り」は改善し、「人員人手」はプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 6 期ぶりの改善、卸・小売業は 5 期ぶりの改善、サービス業が 4 期ぶりの改善と 3 業種で改善となった一方、製造業は 2 期ぶりの悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲33.4（前回調査比 7.5 ポイント上昇）、中央が▲39.4（同 10.1 ポイント上昇）、県南が▲46.6（同 6.4 ポイント上昇）と 3 地域すべてで改善となった。
- **先行き見通し**は、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲31.6（今回調査比 9.0 ポイント上昇）と引き続き改善が見込まれている。

### 【 特別調査 】

- **冬季ボーナスの支給動向**についてうかがったところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では 59.4%（前年比 6.8 ポイント低下）となり、6 期ぶりの低下となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 15.2%（同 1.6 ポイント上昇）と小幅ながら 2 期連続で上昇した。  
また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が 68.9%で最も高い割合を占めた。

2020 年 11 月

株式会社フィデア情報総研

## 目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別 D I 値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 冬季ボーナスについて	12
(1) 支給予定動向	12
(2) 支給予定額	14
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	16
<参考資料 II : 調査の概要>	16

## I. 県内企業の業況

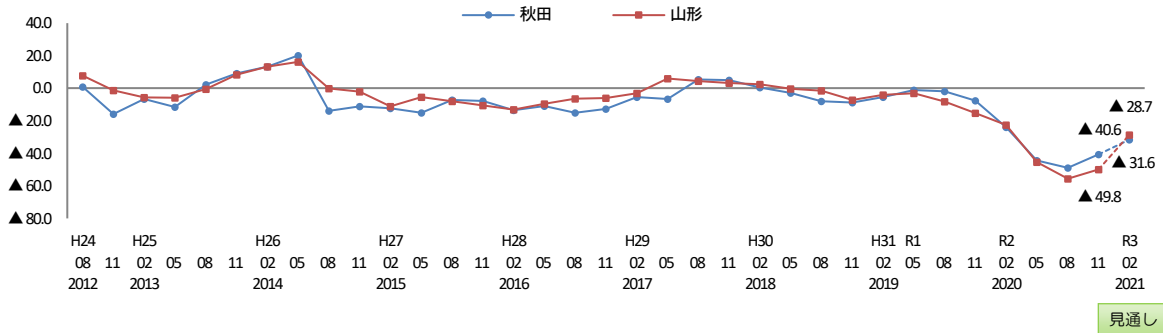
### 1. 概況

#### ～ 景況感は6期ぶりに改善。先行きも改善の見通し ～

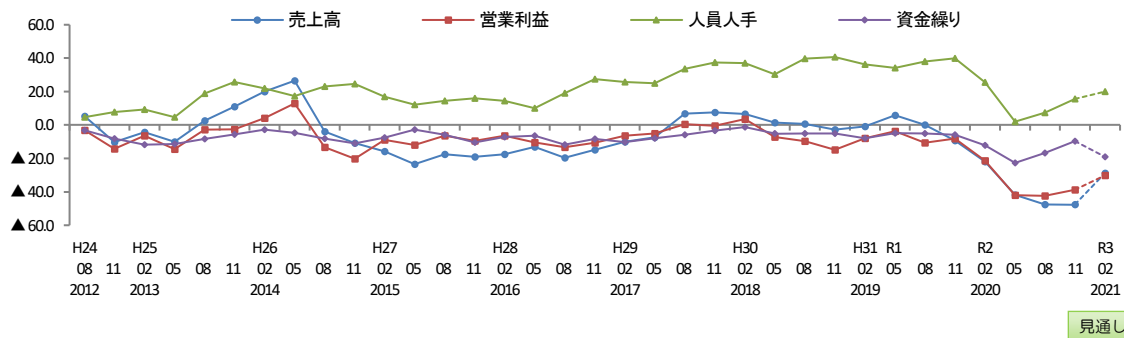
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲40.6（前回調査比 8.3ポイント上昇）と6期ぶりの改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」が小幅ながら悪化となった一方、「営業利益」と「資金繰り」は改善し、「人員人手」はプラス幅が拡大した。新型コロナウイルス感染症の影響は依然色濃く残るものの、足元では回復へ向けた動きがうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲31.6（今回調査比 9.0ポイント上昇）と引き続き改善が見込まれている。

図表 1 全業種「自社の業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2019.11 (n=367)	▲ 7.6	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 9.3	▲ 8.2	39.8	▲ 5.8
2020.02 (n=377)	▲ 23.9	▲ 16.3	▲ 19.1	▲ 22.0	▲ 21.4	25.5	▲ 12.2
2020.05 (n=388)	▲ 44.3	▲ 20.4	▲ 30.3	▲ 41.8	▲ 42.0	2.0	▲ 22.7
2020.08 (n=362)	▲ 48.9	▲ 4.6	▲ 54.9	▲ 47.5	▲ 42.3	7.4	▲ 16.8
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	(8.3)	▲ 49.1	▲ 47.6	▲ 38.8	15.5	▲ 9.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.1)	(3.5)	(8.1)	(7.2)
先行き見通し	▲ 31.6	-	-	▲ 28.7	▲ 30.1	20.0	▲ 19.1
今回調査比	(9.0)	-	-	(18.9)	(8.7)	(4.5)	(▲ 9.5)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

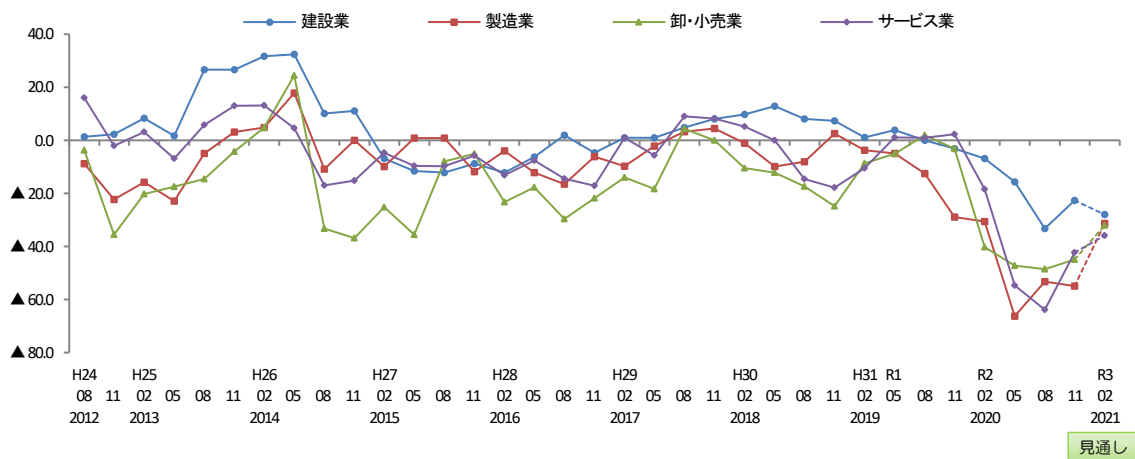
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 6 期ぶりの改善、卸・小売業は 5 期ぶりの改善、サービス業が 4 期ぶりの改善と 3 業種で改善となった一方、製造業は 2 期ぶりの悪化となった。変化の方向には違いがあるものの、引き続きすべての業種で大幅な「悪化」超となっている。

業況の先行き見通しは、建設業では悪化が見込まれる一方、製造業、卸・小売業、サービス業では改善の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2019.11 (n=367)	▲ 7.6	▲ 3.1	▲ 28.9	▲ 3.1	2.3
2020.02 (n=377)	▲ 23.9	▲ 6.8	▲ 30.6	▲ 40.2	▲ 18.4
2020.05 (n=388)	▲ 44.3	▲ 15.6	▲ 66.3	▲ 47.2	▲ 54.7
2020.08 (n=362)	▲ 48.9	▲ 33.3	▲ 53.3	▲ 48.5	▲ 63.9
<b>2020.11 (n=355)</b>	<b>▲ 40.6</b>	<b>▲ 22.7</b>	<b>▲ 55.0</b>	<b>▲ 45.0</b>	<b>▲ 42.3</b>
前回調査比	(8.3)	(10.6)	(▲ 1.7)	(3.5)	(21.6)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 31.6</b>	<b>▲ 27.9</b>	<b>▲ 31.3</b>	<b>▲ 32.0</b>	<b>▲ 35.9</b>
今回調査比	(9.0)	(▲ 5.2)	(23.7)	(13.0)	(6.4)

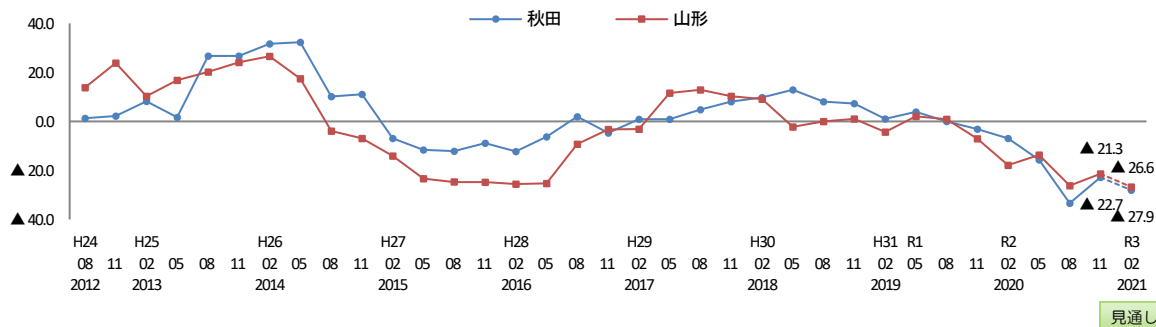
## (2) 業種別DI値の動向

### ① 建設業

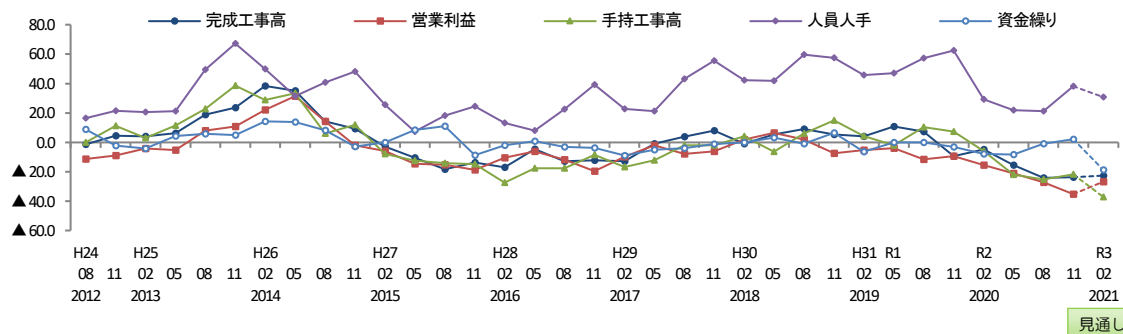
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲22.7（前回調査比 10.6 ポイント上昇）と6期ぶりの改善となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「営業利益」が悪化した一方、「完成工事高」、「手持工事高」、「資金繰り」はいずれも改善した。「人員人手」は4期ぶりにプラス幅が拡大し、足元では人手不足感が再び強まっている。各社のコメントからみると、コロナ禍において民間の建築設備投資の減少や個人住宅需要の不振などの影響が見られるものの、公共工事については堅調に推移している状況がうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲27.9（今回調査比 5.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

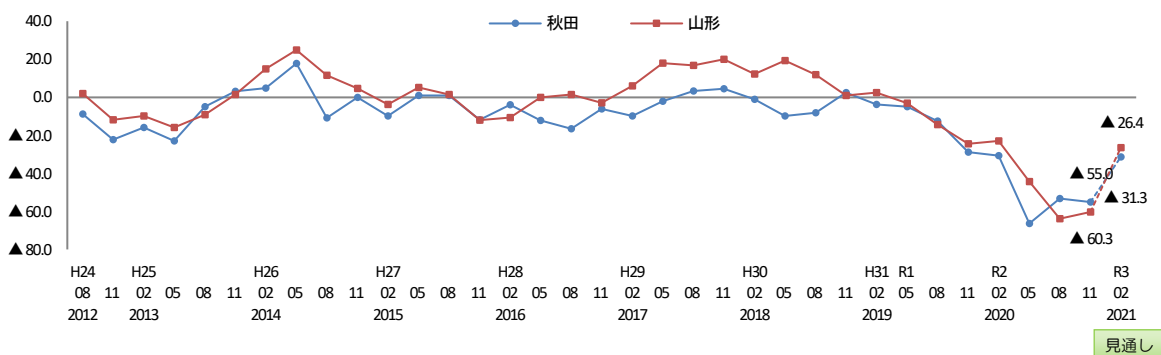
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測	前回調査比					
2019.11 (n=96)	▲ 3.1	▲ 3.1	6.3	▲ 9.4	▲ 9.4	7.3	62.5	▲ 3.1
2020.02 (n=103)	▲ 6.8	▲ 3.7	▲ 13.6	▲ 4.8	▲ 15.5	▲ 5.8	29.2	▲ 7.8
2020.05 (n=109)	▲ 15.6	▲ 8.8	▲ 31.1	▲ 15.5	▲ 21.1	▲ 22.0	22.0	▲ 8.3
2020.08 (n=99)	▲ 33.3	▲ 17.7	▲ 34.0	▲ 24.2	▲ 27.2	▲ 25.2	21.3	▲ 1.0
<b>2020.11 (n=97)</b>	<b>▲ 22.7</b>	<b>(10.6)</b>	<b>▲ 30.3</b>	<b>▲ 23.7</b>	<b>▲ 35.1</b>	<b>▲ 21.7</b>	<b>38.1</b>	<b>2.1</b>
前回調査比	-	-	-	(0.5)	(▲ 7.9)	(3.5)	(16.8)	(3.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 27.9</b>	-	-	<b>▲ 22.7</b>	<b>▲ 26.8</b>	<b>▲ 37.1</b>	<b>30.9</b>	<b>▲ 18.6</b>
今回調査比	(▲ 5.2)	-	-	(1.0)	(8.3)	(▲ 15.4)	(▲ 7.2)	(▲ 20.7)

## ② 製造業

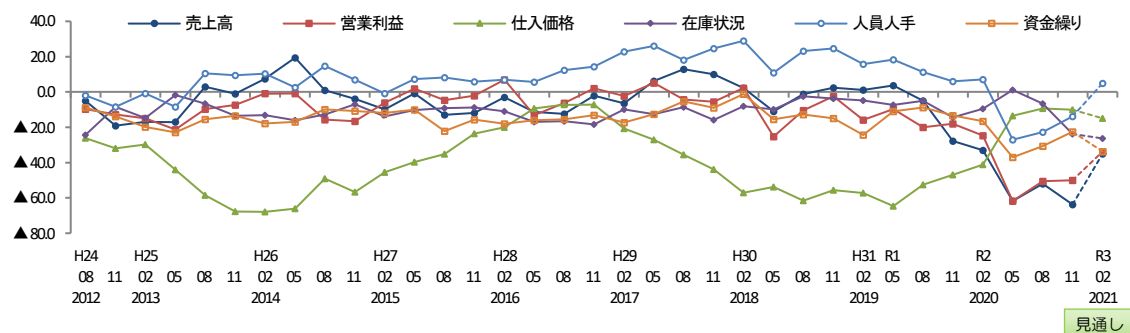
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲55.0（前回調査比 1.7 ポイント下落）と、2期ぶりの悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「営業利益」と「資金繰り」が改善した一方、「売上高」、「仕入価格」、「在庫状況」は悪化した。また、「人員人手」は2期連続でマイナス幅が縮小した。各社のコメントからみると、新型コロナウイルス感染症の影響から、飲食料品関連や建設関連など多くの業種で受注の減少が見られた一方、衣料品関連や半導体関連など一部には持ち直しの動きがうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲31.3（今回調査比 23.7 ポイント上昇）と大幅な改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



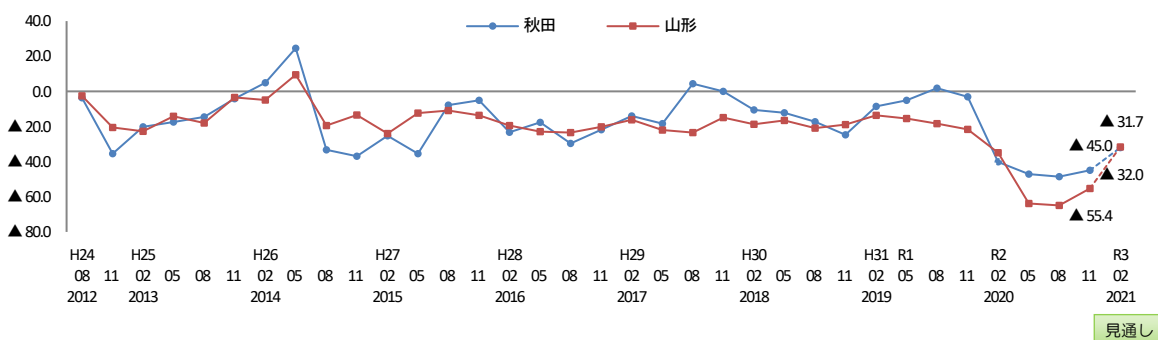
前年同期比の自社業況D I 値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2019.11 (n=83)	▲ 28.9	▲ 16.4	▲ 16.3	▲ 27.7	▲ 18.0	▲ 47.0	▲ 14.4	6.0	▲ 13.3
2020.02 (n=85)	▲ 30.6	▲ 1.7	▲ 24.1	▲ 33.0	▲ 24.7	▲ 41.2	▲ 9.5	7.1	▲ 16.5
2020.05 (n=89)	▲ 66.3	▲ 35.7	▲ 25.9	▲ 61.8	▲ 61.8	▲ 13.5	1.2	▲ 27.0	▲ 37.0
2020.08 (n=75)	▲ 53.3	13.0	▲ 61.8	▲ 52.0	▲ 50.6	▲ 9.4	▲ 6.6	▲ 22.7	▲ 30.7
<b>2020.11 (n=80)</b>	<b>▲ 55.0</b>	<b>(▲ 1.7)</b>	<b>▲ 57.3</b>	<b>▲ 63.7</b>	<b>▲ 50.0</b>	<b>▲ 10.0</b>	<b>▲ 23.8</b>	<b>▲ 13.8</b>	<b>▲ 22.5</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 11.7)	(0.6)	(▲ 0.6)	(▲ 17.2)	(8.9)	(8.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 31.3</b>	-	-	<b>▲ 35.0</b>	<b>▲ 33.8</b>	<b>▲ 15.0</b>	<b>▲ 26.3</b>	<b>5.0</b>	<b>▲ 33.7</b>
今回調査比	(23.7)	-	-	(28.7)	(16.2)	(▲ 5.0)	(▲ 2.5)	(18.8)	(▲ 11.2)

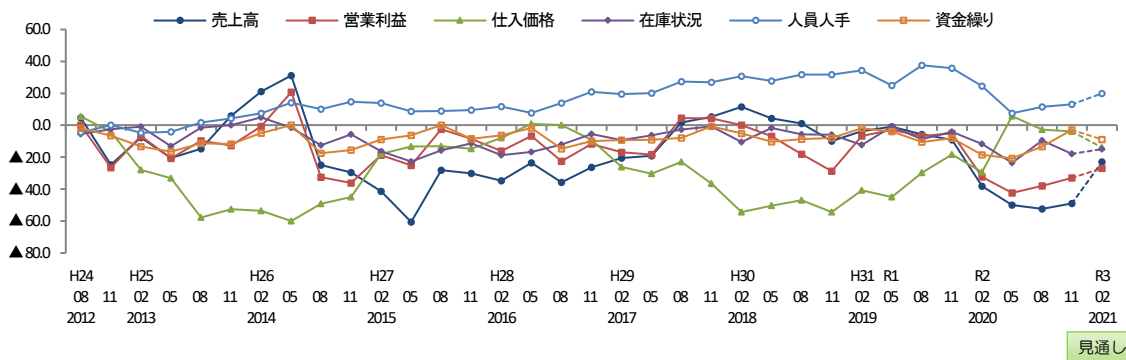
### ③ 卸・小売業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲45.0（前回調査比 3.5 ポイント上昇）と 5 期ぶりの改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」と「在庫状況」が悪化した一方、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」は改善し、「人員人手」は小幅ながら 2 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、飲食料品関連や衣料品関連、ガソリンスタンドなどで引き続き厳しさがうかがえる一方、医療用品では需要の増加も見られるなど、引き続きプラス・マイナス両面で新型コロナウイルス感染症の影響がうかがえた。業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲32.0（今回調査比 13.0 ポイント上昇）と引き続き改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

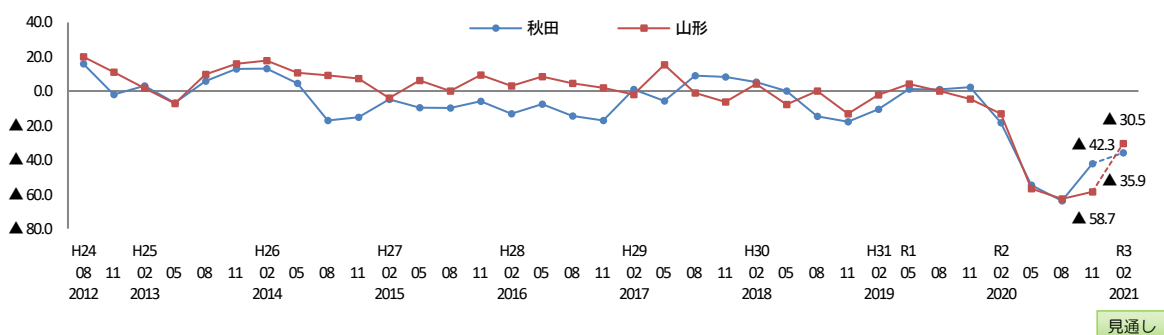
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2019.11 (n=98)	▲ 3.1	▲ 5.0	▲ 22.1	▲ 9.2	▲ 5.1	▲ 18.4	▲ 4.1	35.7	▲ 8.2
2020.02 (n=102)	▲ 40.2	▲ 37.1	▲ 29.6	▲ 38.2	▲ 32.3	▲ 29.4	▲ 11.8	24.5	▲ 18.6
2020.05 (n=106)	▲ 47.2	▲ 7.0	▲ 43.1	▲ 50.0	▲ 42.4	5.6	▲ 23.6	7.5	▲ 20.7
2020.08 (n=105)	▲ 48.5	▲ 1.3	▲ 65.1	▲ 52.4	▲ 38.1	▲ 2.8	▲ 9.6	11.5	▲ 13.4
<b>2020.11 (n=100)</b>	<b>▲ 45.0</b>	<b>(3.5)</b>	<b>▲ 52.3</b>	<b>▲ 49.0</b>	<b>▲ 33.0</b>	<b>▲ 4.0</b>	<b>▲ 18.0</b>	<b>13.0</b>	<b>▲ 3.0</b>
前回調査比	-	-	-	(3.4)	(5.1)	(▲ 1.2)	(▲ 8.4)	(1.5)	(10.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 32.0</b>	-	-	<b>▲ 23.0</b>	<b>▲ 27.0</b>	<b>▲ 14.0</b>	<b>▲ 15.0</b>	<b>20.0</b>	<b>▲ 9.0</b>
今回調査比	(13.0)	-	-	(26.0)	(6.0)	(▲ 10.0)	(3.0)	(7.0)	(▲ 6.0)

### ④ サービス業

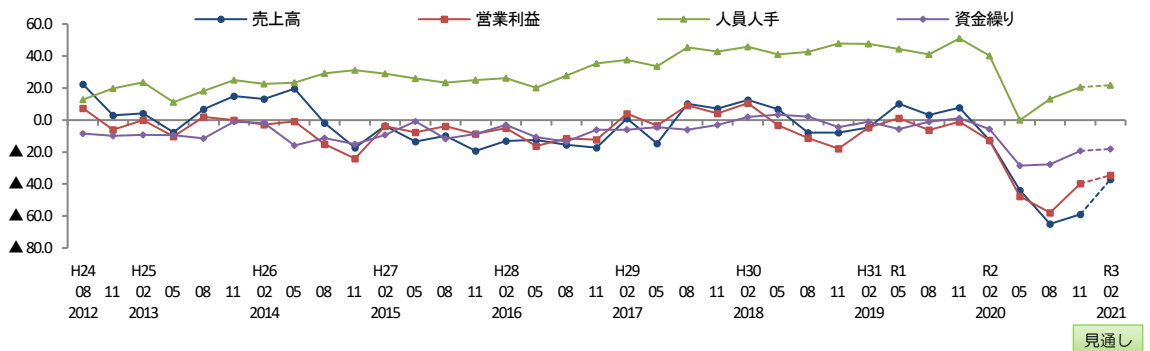
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲42.3（前回調査比 21.6 ポイント上昇）と 4 期ぶりの改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」でみると、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」がいずれも改善し、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、運輸関連で改善の動きが見られたほか、Go To キャンペーン等により宿泊や飲食関連で上向きの動きが見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲35.9（今回調査比 6.4 ポイント上昇）と引き続き改善が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2019.11 (n=90)	2.3	1.3	▲ 3.1	7.7	▲ 1.1	51.1	1.1
2020.02 (n=87)	▲ 18.4	▲ 20.7	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 12.6	40.3	▲ 5.7
2020.05 (n=84)	▲ 54.7	▲ 36.3	▲ 18.4	▲ 44.0	▲ 47.7	0.0	▲ 28.5
2020.08 (n=83)	▲ 63.9	▲ 9.2	▲ 61.9	▲ 65.1	▲ 57.9	13.2	▲ 27.7
<b>2020.11 (n=78)</b>	<b>▲ 42.3</b>	<b>(21.6)</b>	<b>▲ 60.2</b>	<b>▲ 59.0</b>	<b>▲ 39.7</b>	<b>20.5</b>	<b>▲ 19.2</b>
前回調査比	-	-	-	(6.1)	(18.2)	(7.3)	(8.5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 35.9</b>	-	-	<b>▲ 37.2</b>	<b>▲ 34.6</b>	<b>21.8</b>	<b>▲ 18.0</b>
今回調査比	(6.4)	-	-	(21.8)	(5.1)	(1.3)	(1.2)



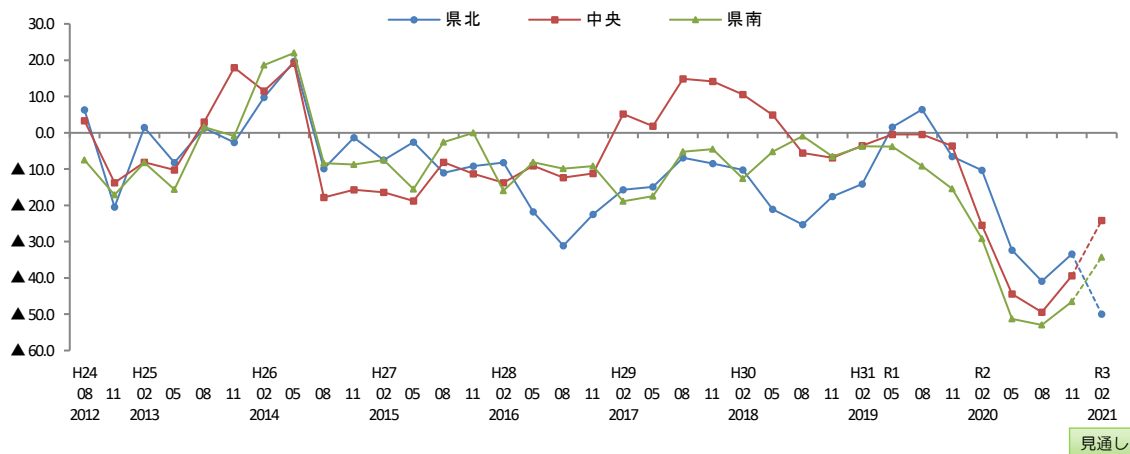
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲33.4（前回調査比 7.5 ポイント上昇）、中央が▲39.4（同 10.1 ポイント上昇）、県南が▲46.6（同 6.4 ポイント上昇）と 3 地域すべてで改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北で悪化が見込まれる一方、中央と県南では引き続き改善が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2019.11 (n=367)	▲ 7.6	▲ 6.5	▲ 3.6	▲ 15.4
2020.02 (n=377)	▲ 23.9	▲ 10.3	▲ 25.5	▲ 29.2
2020.05 (n=388)	▲ 44.3	▲ 32.4	▲ 44.4	▲ 51.3
2020.08 (n=362)	▲ 48.9	▲ 40.9	▲ 49.5	▲ 53.0
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	▲ 33.4	▲ 39.4	▲ 46.6
前回調査比	(8.3)	(7.5)	(10.1)	(6.4)
先行き見通し	▲ 31.6	▲ 50.0	▲ 24.2	▲ 34.3
今回調査比	(9.0)	(▲ 16.6)	(15.2)	(12.3)

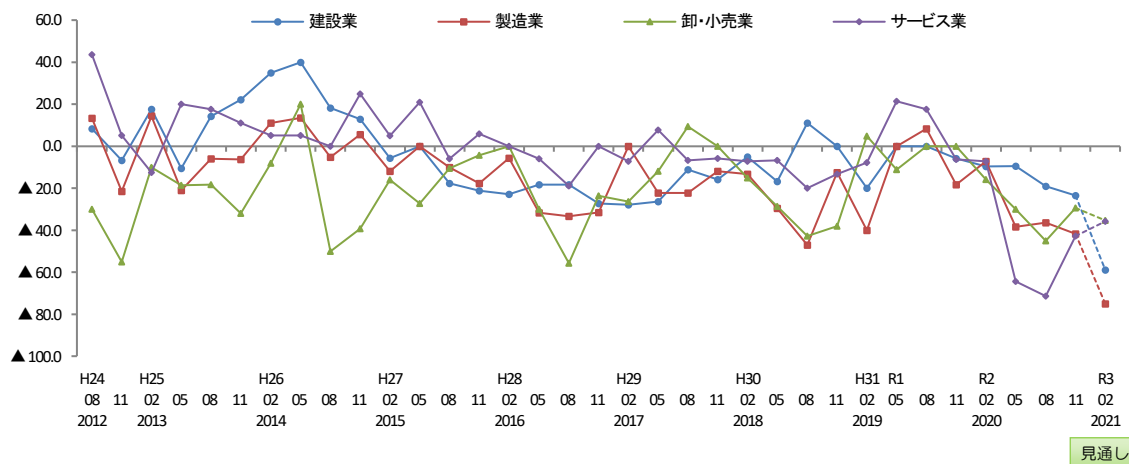
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 県北

「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲33.4 (前回調査比 7.5 ポイント上昇) と 5 期ぶりの改善となった。業種別では、建設業と製造業が悪化となった一方、卸・小売業とサービス業は改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲50.0 (今回調査比 16.6 ポイント下落) と再び悪化が見込まれている。業種別では、サービス業では引き続き改善が見込まれ、その他の 3 業種では悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

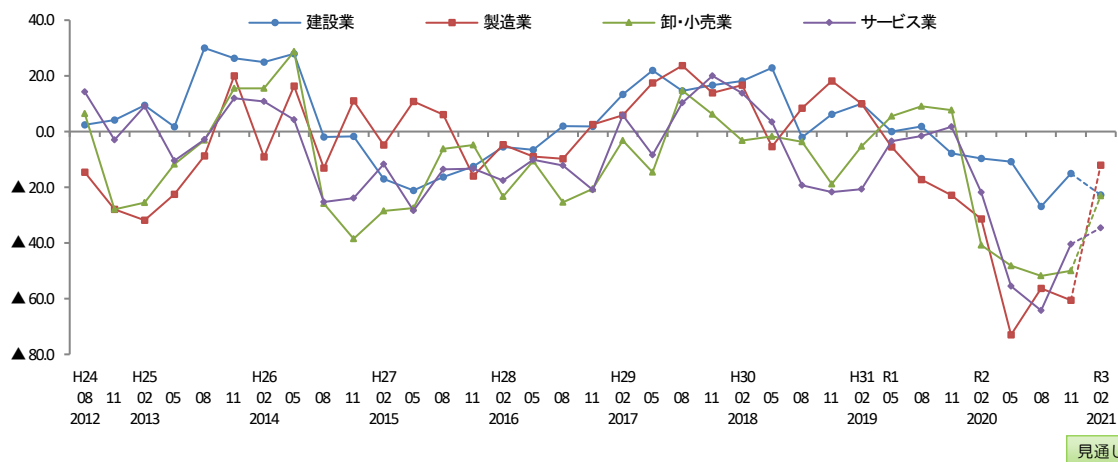
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2019.11 (n=61)	▲ 6.5	▲ 5.8	▲ 18.2	0.0	▲ 6.2
2020.02 (n=68)	▲ 10.3	▲ 9.6	▲ 7.1	▲ 15.8	▲ 7.2
2020.05 (n=68)	▲ 32.4	▲ 9.5	▲ 38.4	▲ 30.0	▲ 64.3
2020.08 (n=66)	▲ 40.9	▲ 19.0	▲ 36.3	▲ 45.0	▲ 71.4
<b>2020.11 (n=60)</b>	<b>▲ 33.4</b>	<b>▲ 23.5</b>	<b>▲ 41.7</b>	<b>▲ 29.4</b>	<b>▲ 42.8</b>
前回調査比	(7.5)	(▲ 4.5)	(▲ 5.4)	(15.6)	(28.6)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 50.0</b>	<b>▲ 58.8</b>	<b>▲ 75.0</b>	<b>▲ 35.3</b>	<b>▲ 35.8</b>
今回調査比	(▲ 16.6)	(▲ 35.3)	(▲ 33.3)	(▲ 5.9)	(7.0)

## ② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲39.4（前回調査比 10.1 ポイント上昇）と 6 期ぶりの改善となった。業種別では、製造業が悪化した一方、その他の 3 業種は改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲24.2（今回調査比 15.2 ポイント上昇）と引き続き改善が見込まれている。業種別にみると、建設業では悪化が見込まれている一方、その他の 3 業種はいずれも改善の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

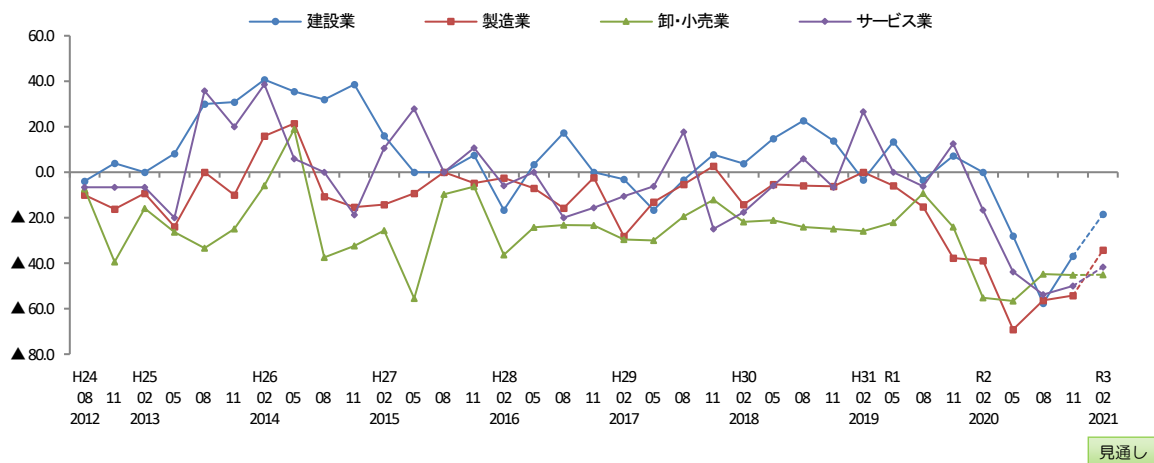
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2019.11 (n=196)	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 22.9	7.7	1.8
2020.02 (n=196)	▲ 25.5	▲ 9.6	▲ 31.4	▲ 40.8	▲ 21.8
2020.05 (n=203)	▲ 44.4	▲ 10.8	▲ 73.0	▲ 48.2	▲ 55.5
2020.08 (n=196)	▲ 49.5	▲ 26.9	▲ 56.3	▲ 51.8	▲ 64.3
<b>2020.11 (n=190)</b>	<b>▲ 39.4</b>	<b>▲ 15.0</b>	<b>▲ 60.6</b>	<b>▲ 50.0</b>	<b>▲ 40.4</b>
前回調査比	(10.1)	(11.9)	(▲ 4.3)	(1.8)	(23.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 24.2</b>	<b>▲ 22.7</b>	<b>▲ 12.1</b>	<b>▲ 23.1</b>	<b>▲ 34.6</b>
今回調査比	(15.2)	(▲ 7.7)	(48.5)	(26.9)	(5.8)

### ③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲46.6（前回調査比 6.4 ポイント上昇）と 7 期ぶりの改善となった。業種別にみると、卸・小売業が小幅ながら悪化となった一方、その他の 3 業種はいずれも改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲34.3（今回調査比 12.3 ポイント上昇）と引き続き改善が見込まれている。業種別では、すべての業種で改善の見通しとなっている。

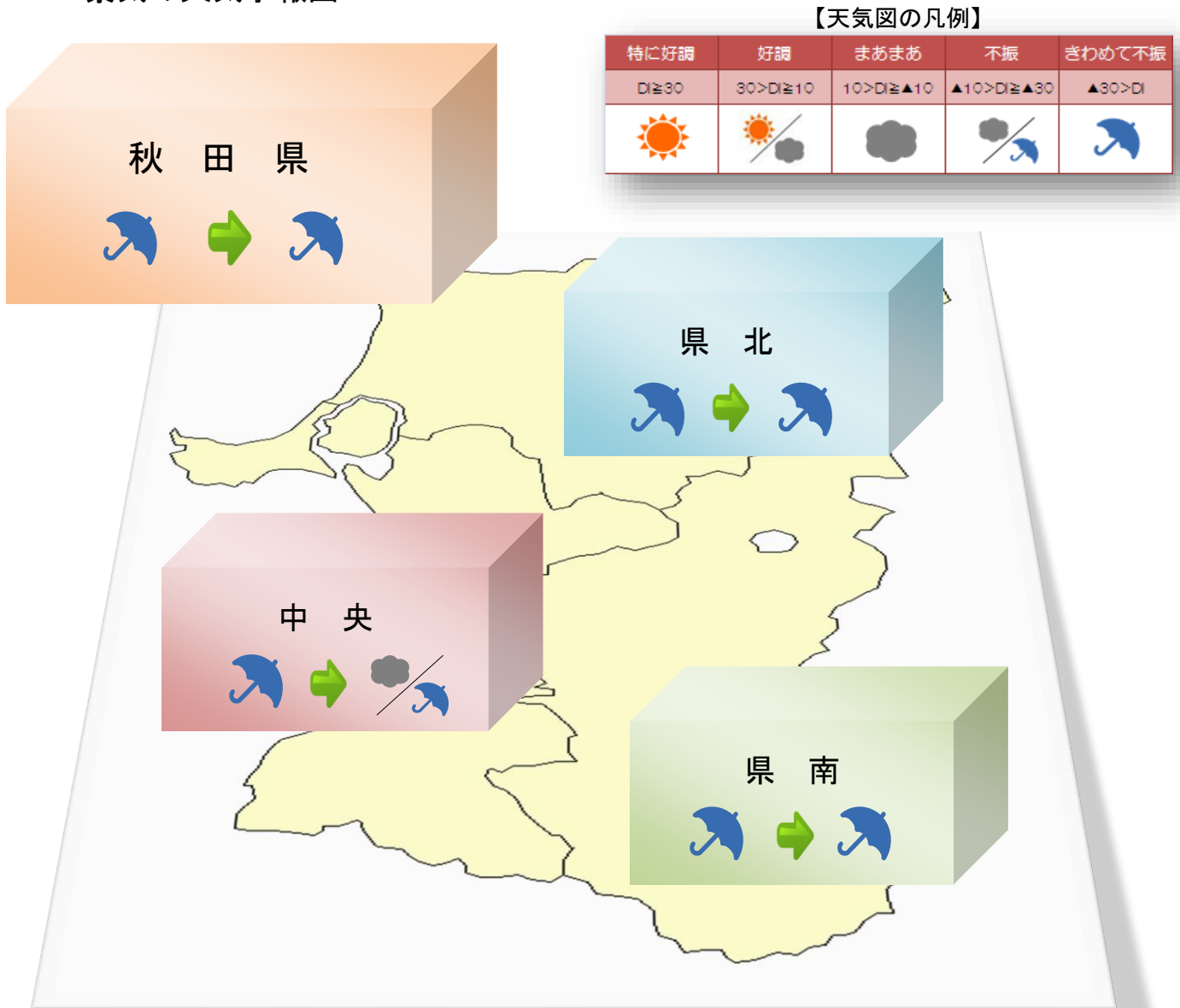
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2019.11 (n=110)	▲ 15.4	7.1	▲ 37.8	▲ 24.1	12.5
2020.02 (n=113)	▲ 29.2	0.0	▲ 38.9	▲ 55.2	▲ 16.6
2020.05 (n=117)	▲ 51.3	▲ 28.1	▲ 69.2	▲ 56.6	▲ 43.8
2020.08 (n=100)	▲ 53.0	▲ 57.7	▲ 56.3	▲ 44.8	▲ 53.8
<b>2020.11 (n=105)</b>	<b>▲ 46.6</b>	<b>▲ 37.0</b>	<b>▲ 54.3</b>	<b>▲ 45.2</b>	<b>▲ 50.0</b>
前回調査比	(6.4)	(20.7)	(2.0)	(▲ 0.4)	(3.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 34.3</b>	<b>▲ 18.5</b>	<b>▲ 34.3</b>	<b>▲ 45.1</b>	<b>▲ 41.7</b>
今回調査比	(12.3)	(18.5)	(20.0)	(0.1)	(8.3)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

### Ⅲ. 特別調査

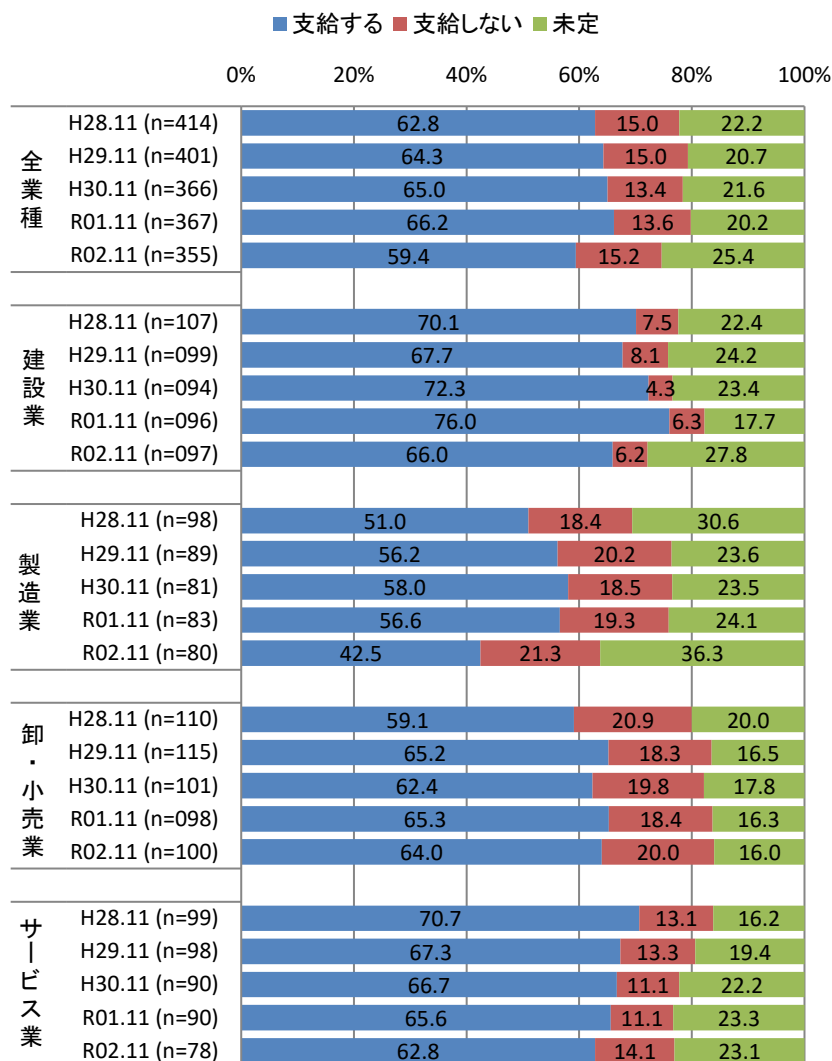
#### 1. 冬季ボーナスについて

##### (1) 支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では 59.4%（前年比 6.8 ポイント低下）となり、6 期ぶりの低下となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 15.2%（同 1.6 ポイント上昇）と小幅ながら 2 期連続で上昇した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 66.0%（同 10.0 ポイント低下）、製造業が 42.5%（同 14.1 ポイント低下）、卸・小売業が 64.0%（同 1.3 ポイント低下）、サービス業が 62.8%（同 2.8 ポイント低下）と、すべての業種で前年を下回った。

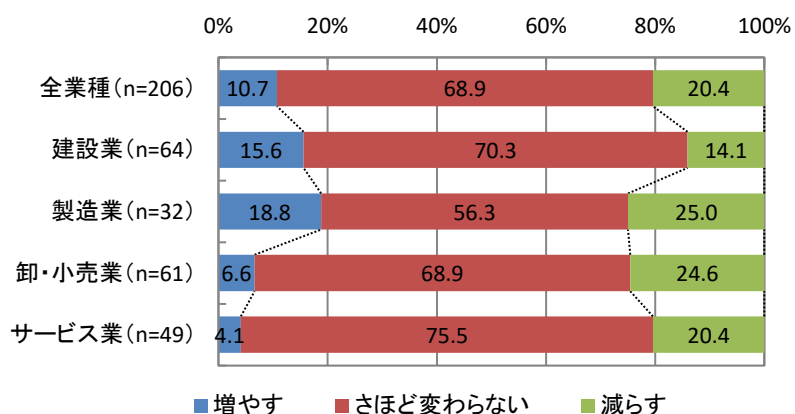
図表 16 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種で見ると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が 68.9%で最も高い割合を占めた。また、「増やす」との回答は 10.7%と前年（22.4%）から 11.7 ポイント低下し、一方、「減らす」の割合は 20.4%と前年（9.7%）から 10.7 ポイント上昇しており、「増やす」が「減らす」の割合を 9.7 ポイント下回った。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合が最も高いのは製造業（18.8%）で、一方、最も低いのはサービス業（4.1%）であった。また、「減らす」との回答は製造業（25.0%）、卸・小売業（24.6%）、サービス業（20.4%）の 3 業種で 2 割台となり、建設業（14.1%）に比べて高い割合となった。

図表 17 業種別「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



## (2) 支給予定額

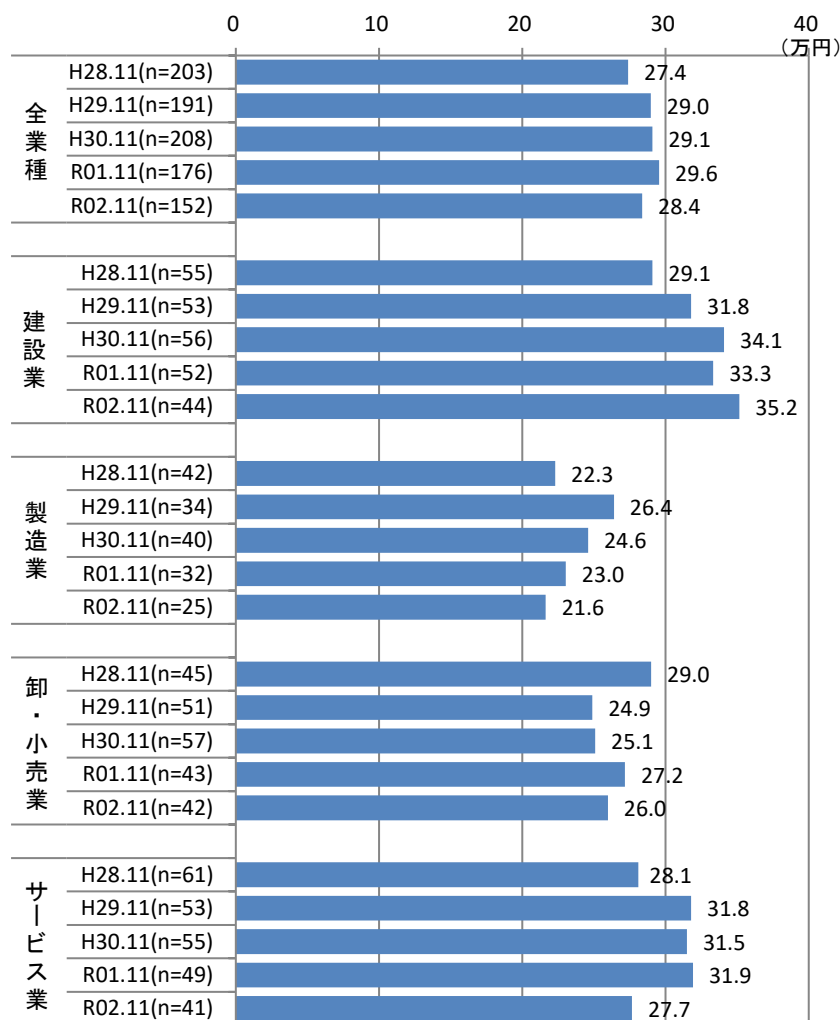
冬季ボーナスの支給予定額は全業種平均で 28.4 万円と、昨年に比べ 1.2 万円の低下が見込まれている。

業種別に見ると、建設業の 35.2 万円が最も高く、次いでサービス業の 27.7 万円が続き、以下は卸・小売業の 26.0 万円、製造業の 21.6 万円の順となった。昨年に比べて建設業では増加が見込まれている一方、その他の 3 業種ではいずれも低下の見通しとなっている。

平均支給予定額は、全業種では「20 万円以上 30 万円未満」が 33.6%と、最も多くなっている（図表 19）。

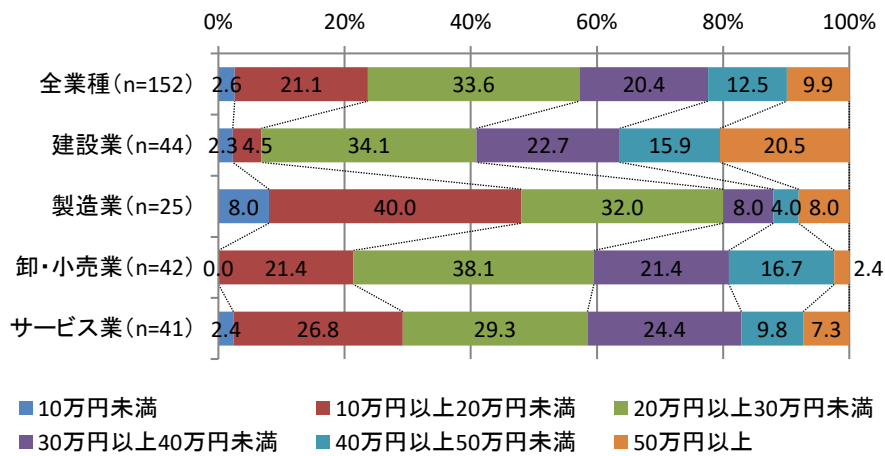
平均支給予定月数は、全業種では「1.0 ヶ月以上 1.5 ヶ月未満」が 41.1%と、最も多くなっている（図表 20）。

図表 18 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移

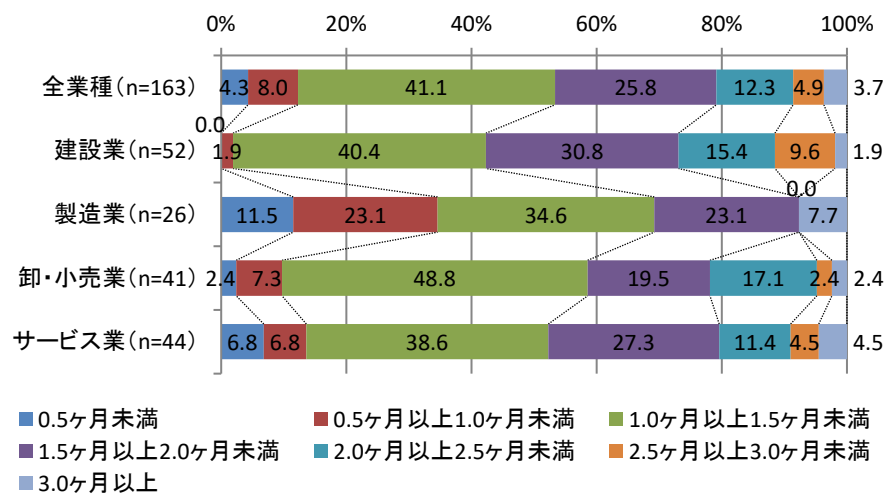




図表 19 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」



図表 20 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定月数」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	18	24	19	83
中央	65	51	69	77	262
県南	36	52	40	21	149
合計	123	121	133	117	494

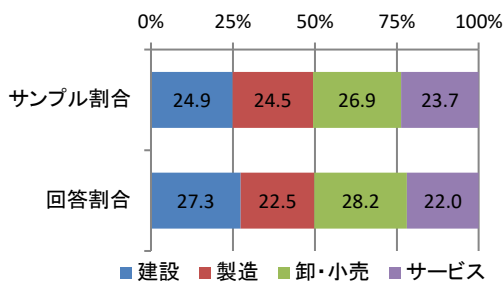
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	17	12	17	14	60
中央	53	33	52	52	190
県南	27	35	31	12	105
合計	97	80	100	78	355

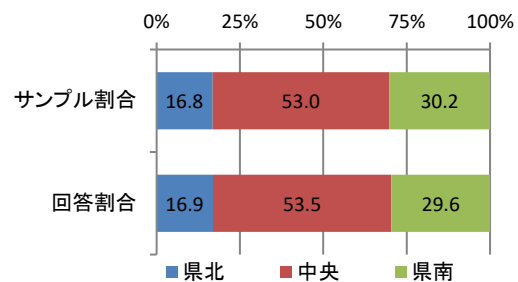
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	77.3	66.7	70.8	73.7	72.3
中央	81.5	64.7	75.4	67.5	72.5
県南	75.0	67.3	77.5	57.1	70.5
合計	78.9	66.1	75.2	66.7	71.9

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2020年11月2日（月）～16日（月）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」 (「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

## <お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

## <お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤/佐藤

### ・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F  
TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

### ・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F  
TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp  
URL : <https://www.fir.co.jp/>